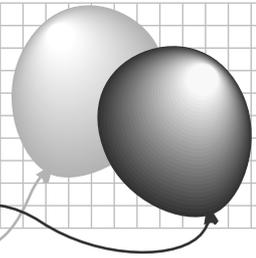


話題の広場



中央会事業 より

経営計画作成塾を開催！

去る7月16日(木)、本会では、秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」において、本年度の新規事業である「経営計画作成塾」の第1回目を開催した。

本事業は、経営改善計画書の作成や経営管理手法等を習得し、組合・企業の経営基盤の確立につなげることを目的としており、企業経営アドバイザーの小関昌男氏を講師として、全7回に亘り開催する。

第1回目の内容は、「経営環境をどう捉え、どう対応するか」、「自社の儲度チェック」とし、14名の参加者が熱心に耳を傾けた。

その主なポイントは次のとおり。

- 商売とは、組織と組織の戦いである。ぼやつとしていけば命を落とす。
- 組織の4条件
 - ①2人以上いること、②目的があること
 - ③構成する1人1人には、役割がある
 - ④最低限のルールを守ること
- 企業経営とは
 - ①トップの思いを如何にして達成するか。
 - ②入り（収入を増やす）と払い（原価を抑える）と事務管理（進捗具合）。
 - ③経営資源を正しく捉えること。
- 企業を発展させるには「計画・実行・検証・挑戦（再挑戦）」をこまめに実践すること。
- 企業の経営実績は、決算書の数字として表れる。決算書は企業の経営情報の宝庫であり、その内容を経営分析することが従来型経営から抜け出すための他第一歩となる。



中央会活動ビジョン策定委員会を開催！

去る6月29日(月)、本会会議室において、第3回中央会活動ビジョン策定委員会（藤木啓二委員長）を開催した。

委員会では、本会の作業部会から提出された活動ビジョンの骨子（要約版）について意見交換し、「強い組合 強い企業づくり」を基本理念とした、ビジョンの骨子が固められた。

本ビジョンは、本年度中の完成を予定している。



■中野副知事が本会を訪問

去る7月7日(火)、佐藤文一前副知事の経済産業省への復帰に伴い、新たに副知事に就任した中野節（たかし）氏が本会を訪問しました。

中野副知事は、本会が取り組んでいる「ものづくり支援」や「地域力連携拠点」の他、企業組合の設立状況などについて本会米澤会長と懇談しました。中野副知事は、「秋田県は資源が豊かなイメージがある。秋田県の特徴を生かした産業の振興等に努めたい」等と抱負を語られました。



中野副知事（右）と本会米澤会長

アラカハト

組合愛称とシンボルマークを決定

～協同組合横手卸センター～

協同組合横手卸センター（多賀糸敏雄理事長、31組合員）では、組合の愛称と新シンボルマークを決定した。

この取り組みは、組合員の意思統一を図り、卸団地組合として次の時代へチャレンジしていくことを目的としており、組合の愛称は「ウィズ横手」とした。また、シンボルマークは「情報流・商流・物流」の3つの流れを、流通の重要な流れと捉え、“with”と組み合わせ、新たな流通をデザイン化している。



インフォメーション Information

中小企業団体ゴルフ大会参加者募集！

本会では、会員並びに関係機関相互の交流の促進を目的に、第13回中小企業団体ゴルフ大会を下記のとおり開催します。奮ってご参加下さい。

○日 時：9月18日(金)

午前8時28分（第1組スタート）

○場 所：秋田カントリークラブ

○参加料：1名 4,000円

※プレー代等は、各自でご精算願います。

※ビジタープレー代：10,500円（大会特別優待価格）

（プレー代には、グリーンフィ、キャディフィ、利用税、諸経費、消費税が含まれておりますが、食事代は別途必要です。なお、全組キャディ付き乗用カート利用です。）

○申込期限：8月28日(金)

○お申し込み・お問い合わせ

本会調査広報課（☎018-863-8701）

あきた農商工応援ファンド事業（助成金）の募集について ～(財)あきた企業活性化センター～

あきた企業活性化センターでは、農林漁業者と中小企業者等が連携し、互いに有するノウハウや技術等を活用して取り組む新商品開発や販路開拓等に対して助成を行う、あきた農商工応援ファンド事業の募集を下記のとおり行っております。

○募集期間 平成21年7月6日(月)～平成21年8月31日(月)

○助成率

- 1 農商工連携支援事業（重点支援枠：2/3以内、一般枠：1/2以内）
- 2 農商工連携応援団体支援事業（10/10以内）

○助成限度額 500万円

○お申し込み・お問い合わせ

財団法人あきた企業活性化センター 経営支援グループ / 経営革新担当（☎018-860-5701）

県特産品開発コンクールの作品募集！

～秋田県～

秋田県では、品質・価格・デザインなどの点で消費者の購買心理に訴えるような新しい秋田県産品を表彰・PRすることにより、本県の特産品の開発及び改良を促進し、産業の振興に寄与するため、「秋田県特産品開発コンクール」を次のとおり開催します。

○実施主体 秋田県（委託先：(株)秋田県物産振興会）

○応募資格 県内に事業所を有する企業・組合・各種団体・グループ及び個人

○応募対象 販売を目的として、審査日以前1年以内に新たに開発された商品で、同一商品の再生産が可能なもの。（過去に生産・販売・応募した商品の改良品も応募可）

○応募部門 ①加工食品部門（菓子、農林畜水産加工品等、酒類）

②民芸品部門（家具類を除く、小木工加工品、民芸品）

○応募締切 平成21年8月31日(月) 午後5時

○応募方法 応募様式を下記ホームページや食彩あきた推進室（県庁第2庁舎）、各地域振興局地域企画課等に備え付けの申込書により申請して下さい。

URL <http://www.pref.akita.lg.jp/syokusai/>

【お申し込み・お問い合わせ】

(株)秋田県物産振興会（☎018-836-7830）

中小企業事業主の皆様、退職金の準備は万全ですか？ ～(独)勤労者退職金共済機構～

中退共制度は、中小企業で働く従業員のための外部積立型の国の退職金制度です。掛金助成や税法上の優遇など、有利な特典がいっぱいです。安全・確実な中退共制度を是非ご利用下さい。

- ・適格退職年金制度からの移行先です。
- ・掛金の一部を国が助成します。
- ・掛金は全額非課税です。
- ・管理が簡単です。
- ・掛金以外の経費がかかりません。

○お問い合わせ

(独)勤労者退職金共済機構中小企業退職金共済事業本部 (☎ 03-3436-0151)

支援団体活動レポート

平成 21 年度通常総会・第 1 回研修会を開催

～秋田県中小企業組合士会～

7月10日(金)、秋田市「第一会館」において、秋田県中小企業組合士会の平成21年度通常総会が開催されました。総会では、平成20年度の収支決算が承認された他、会員の資質の向上、会員間の交流事業を中心とする平成21年度事業計画及び収支予算が原案どおり満場一致で承認されました。

総会終了後は、平成21年度第1回目の研修会が開催され、秋田人変身力会議会長の荒谷紘毅氏を講師に、「どう進む、中小企業～雇用が生まれる秋田の創造～」をテーマに講演が行われました。

講演では、「秋田の人口が減るのは、首都圏に出て行った人が帰って来ないから。若い人が戻ってきても仕事がないので、会社をリタイヤした人が戻ってくれば、お金・知識・ノウハウを持ってきてくれる。」と語り、県を挙げて運動することの重要性について述べられました。



平成 21 年度通常総会を開催 ～秋田県中小企業青年中央会～

7月22日(水)、秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」において、秋田県中小企業青年中央会の平成21年度通常総会が開催され、平成20年度の収支決算が承認された他、平成21年度事業計画、収支予算等原案どおり満場一致で承認されました。

総会に引き続き、平成20年度において本会の青年部研究会事業を活用した5青年部から成果報告が行われ、会場から活発に質問が出されました。

総会終了後は、秋田県産業経済労働部産業経済政策課の伊藤邦夫課長を始め、多くの来賓の出席の下で、盛大に懇親会が行われ、会員同士の歓談する姿があちこちで見受けられました。



高校生の県内就職促進にご協力下さい！

～県高等学校長協会、県高等学校 PTA 連合会～

7月22日(水)、秋田県高等学校長協会の菊谷一会長を始め、秋田県高等学校 PTA 連合会の菅原広二会長などが秋田県商工会館を訪れ、本会など経済5団体の代表者へ高校生の県内就職促進について陳情を行った。

菊谷会長は、「一部の報道では、来年3月卒業予定の高校生に対する求人は、6月末段階で昨年度比△45.5%となっており、高校生を取り巻く就職環境は、かつてないほど厳しいものが予想される」と述べ、採用枠の昨年以上の確保と求人票の早期提出について要請を行った。

本会の会員、組合員企業におかれましては、高校生の県内就職促進に特段のご協力をお願い致します。



要請書を受け取る本会米澤会長(左)